

## 教育委員会定例会議事録

令和5年7月21日 午後2時00分 開会

## 出席委員

教 育 長	高 本 訓 久
委 員	山 田 清 志
委 員	菅 沼 由 貴 子
委 員	戸 苺 恵 理 子
委 員	佐 原 圭 子

## 説明のための出席者

教育部長	前 田 清 彦
教育部次長	酒 井 保 吏
教育部次長兼学校教育課長	鈴 木 康 孔
教育部次長兼中央図書館長	尾 崎 浩 司
庶務課課長	杉 浦 忠 彦
庶務課主幹	石 黒 友 作
学校教育課主幹	中 村 立 志
生涯学習課長	石 黒 泰 基
スポーツ課長	小 原 寛 明
学校給食課長	林 俊 光
中央図書館主幹	渡 邊 里 恵

## 教育長が指定した事務局職員

主 事	森 下 徹
-----	-------

## 議事日程

- 第1 議事録署名委員の指名
- 第2 第21号議案 令和6年度使用教科用図書採択について（非公開）
- 第3 教育長報告 令和5年度7月補正予算について（専決処分）
- 第4 その他報告 令和4年度教育委員会事務の点検・評価に係る自己評価について

「高本教育長」 定刻になりましたので、ただ今から教育委員会を開会し、会議を開催します。始めに、日程第1、「議事録署名委員の指名」を行います。本日の議事録署名委員は、教育長において、菅沼・佐原 両委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

「高本教育長」 続いて、日程第2、第21号議案「令和6年度使用教科用図書の採択について」を議題といたしますが、本案は、教科用図書の採択に対する働きかけを排除するなど、公正について万全を期す必要があるため議事を非公開とし、会議内容の議事については、教科用図書確定後、開示請求に基づいて開示することとしたいと思います。以上の理由により、第21号議案の審議を非公開としてよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

「高本教育長」 異議なしと認め、本案は非公開とします。

(以下、議事を非公開)

「高本教育長」 続きまして、日程第3、教育長報告「令和5年度7月補正予算について(専決処分)」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

「杉浦庶務課長」 教育長報告「令和5年度7月補正予算について(専決処分)」を資料に基づき説明。

「高本教育長」 この件について、ご質疑がありましたらお願いします。

「山田委員」 大雨被害防止のため桜町小学校校舎出入りにマグネット式の止水版を設置するとのことですが、どのようなものなのですか。また、土嚢を設置する場合との比較などはありますか。

「石黒庶務課主幹」 今回のマグネット式止水版は、常時設置されているものではありません。いつもは校舎出入り口近くに置いておいて、大雨等の被害が予想される場合は、それを出入り口のアルミサッシ部分に持っていき、マグネットで張り付けるといったものです。土嚢との最大の違いは、設置が簡単にできるということです。土嚢で止水しようとした場合、重たい土を大量に移動させる必要がありますが、止水版はアルミ製で13kg程ですのでそこが最大のメリットです。また、水圧試験の結果を見ても、すきまから水が内部に侵入するという事はないようです。

「高本教育長」 ほかにご意見、ご質問がなければ教育長報告「令和5年度7月補正予算について(専決処分)」は以上とさせていただきます。

「高本教育長」 続きまして、日程第3、その他報告「令和4年度教育委員会事務の点検・評価に係る自己評価について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

「杉浦庶務課長」 その他報告「令和4年度教育委員会事務の点検・評価に係る自己評価について」を資料に基づき説明。

「高本教育長」 この件について、ご質疑がありましたらお願いします。

「山田委員」 施策ごとに目標指数が設定されています。この目標指数の参考値が掲載されていますが、施策ごとに令和2年度の数値であったり、令和3年度の数値であ

ったりと異なるようです。これはどのような理由によるものですか。

「杉浦庶務課長」 それぞれの施策ごとに参考として掲載している目標指数については、令和4年3月に策定した第3期豊川市教育振興基本計画に掲載している現在値となります。この計画策定時の最新数値が、令和2年度のものであったのか、令和3年度のものであったのか指標により異なるため、このような表記になっています。

「戸苅委員」 中央図書館に伺います。現在中学校2年生を対象としている「マイブックプロジェクトの推進」について、小学生まで対象を広げるという考えはありますでしょうか。子どもたちが自分で選んで本を買うというのは、とても良い影響があるのだと思います。

「山田委員」 関連して伺います。マイブックプロジェクトの参加率ですが、令和2年度は96.5%だったものが、令和3年度は95.1%、令和4年度は92.7%と徐々に下がっているようです。参加率としては依然として高いと言えるのかもしれませんが、この点について何か心配しているなどありましたら、あわせて教えてください。

「尾崎教育部次長」 小学生への対象枠の拡大については、数年前にも定例会でご意見をいただいたことがあります。小学校5年生も対象にしたかどうかというものでしたが、それを受けて、学校の図書審議会や、校長会でも小学生まで広げることをどう思うかと投げかけをしたところ、現場の意見としてはなかなか賛同が少なかったという状況でした。理由としては、本を買いに書店まで足を運ぶということが交通安全上どうかというものです。マイブックプロジェクトに賛同する書店は市内4店舗からスタートしました。現在、少しずつ増えてはいるものの、学校の近くにあるとは言えない状況です。親の送迎があれば可能かもしれませんが、自転車に乗って遠くの書店に行き、自由に安全に本を購入することが小学生では難しいのではないかという意見が多くあったという状況です。また、参加率についてですが、年々下がっているというわけではなく、年度によって増減があるという状況です。私が図書館勤務になって9年目ですが、例年90%以上が続いており、また、学校の先生方からのアンケート結果を見ても心配されるようなコメントがないので、中央図書館としても心配するまでは至っておりません。ただし、参加率がこのまま下がり続けるようであれば、図書審議会に諮るなどの対応が必要だと考えています。

「菅沼委員」 中学校によって参加率が大きく異なるなどはありますか。

「渡邊中央図書館主幹」 中学校ごとに若干ばらつきはありますが、参加率90%を下回るような学校はありません。

「佐原委員」 事務局自己評価について伺います。例えば、学校教育課の「環境教育・SDGsの理念を踏まえた教育の推進」について、目標指標がESDの視点に立った学習活動に取り組む学校の割合となっていて、現在の達成率は100%となっていますが、事務局自己評価はBとなっています。様々な評価委員会に出席していますが、目標値を達成しているのであればA評価で良いです。なかなか自分たちでAの評価をつけるのは難しいのでしょうか。

「杉浦庶務課長」 それぞれ各課で評価していますので、各課の思いもあるのだと思います。例えば、目標指数は達成しているものの、事業の内容や運営手法等に、まだまだ改善できる点があるのではないかと各課が考えているような事業については、自己評価をAとはしにくいのだと思います。

「菅沼委員」 目標値の設定方法について伺います。例えば、「理科教育の推進」において、理科が好きな児童生徒の割合を目標値としていますが、小学6年生の令和2年度値36.6%を、令和7年度には39.1%としたいという目標になっています。他の指標も同様ですが、例えばこの目標値39.1%はどのように設定されたのでしょうか。

「森下庶務課係長」 計画の策定にあたっては、現在の数値が、未来ではどのような数値になっているのかということを考えます。例えば、目標値を36.6%から、5年後には40%、50%などの切りのいい目標値にしたらどうかという議論もあるかと思いますが、同じ人物に対して5年後に同様の質問をするわけではないので、爆発的な伸びを期待するということは現実的ではないという前提があります。そのようなものについては、徐々に徐々に増やして行って、結果として5年後にはこれくらいの数値になっているように頑張ろうという目標となっています。例えば、今の指標では令和2年度が36.6%で、5年後には39.1%にしたいというもので、その差は2.5%です。つまり、この指標では、毎年0.5%ずつ増やして行って、5年間で2.5%上昇させようという目標となっています。この未来に対する目標設定の考え方は、上昇幅に違いがあるかもしれませんが、同じような考えによって設定されています。

「山田委員」 中央図書館の「電子図書サービスの充実」についてですが、事務局が記載した文章では、今後の展開として「電子図書館を継続できるよう関係部局と調整を行う」となっていて、存続の危機に立っているような表現となっています。電子図書のライセンス数や冊数を見ると、少しずつ充実しているようにも見えますのですが、現実としてはかなり厳しい状況なののでしょうか。

「尾崎教育部次長」 記載した担当者の不安がここに表れてしまったのだと思います。もともと本市電子図書館は、愛知県では2番目という早さでスタートしました。これは、遺産の寄付が豊川市にあって、それを基金に積み立て、少しずつ取り崩しながら実施してきたというものです。その積立金が5年で底をつき、現在では毎年他の事業と同じように財政部局との交渉が行われている状況です。中央図書館には、紙の図書に関する予算もたくさん必要なため、毎年厳しい交渉がなされているところです。そのような背景もあり、このような表現になってしまったのだと思います。一方で、存続の危機に立っているとまでは言えませんので、この表現については、別の表現に改めることを検証させていただきたいと思います。

「高本教育長」 ほかにご意見、ご質問がなければその他報告「令和4年度教育委員会事務の点検・評価に係る自己評価について」は以上とさせていただきます。

「高本教育長」 本日の会議に付議されました案件は以上ですので、これで本委員会  
は閉会といたします。

(午後 3 時 3 2 分 閉会)

この議事録は真正であることを認め、ここに署名する。

教 育 委 員

教 育 委 員